

# こわ～い! インターネットの闇社会! 子どもたちの姿が見えていますか?



愛媛県教育委員会

インターネットの普及や携帯電話の発達、私たちの生活や文化に革命的な進展をもたらしています。学校教育や子どもたちの生活の中でも活用されるようになりました。一方で、インターネット上では有害情報が氾濫し、殺人、自殺、誹謗（ひぼう）中傷など、有害サイトが原因となる事件や事故が多数起きています。本県においても詐欺、脅迫、誹謗中傷、性犯罪などの被害にあった児童生徒がおり、情報化が進展する中で、未来を担う子どもたちが被害に巻き込まれず、また加害者となることがないように安心して正しくインターネット等を活用できる環境を作り出すことが喫緊の課題となっています。

このちらしを活用し、インターネットや携帯の利用の仕方について家庭でしっかりと話し合ってみてください。

## ○ 「チャット」、「ブログ」、「プロフ」って何?

文部科学省のいじめ実態調査で、パソコンや携帯での誹謗（ひぼう）中傷によるいじめの件数を調べたところ、小学校で466件、中学校2,691件、高等学校1,699件、特別支援学校で27件の計4,883件が確認されました。

そのいじめの多くは、「ブログ」や「プロフ」など、インターネット上の様々なコミュニケーションツールを利用したものです。

(コミュニケーションツールに関する用語)

チャット	インターネットや携帯で、不特定多数の人と文字をつかっていろいろな会話ができる仕組み。
ブログ	ウェブログの略。日記を書くような感覚で簡単に記事を更新できるサイト。読んだ人がコメントを書き込んだり、自分のサイトにリンクを貼れたりする機能がついている。
プロフ	プロフィールの略。最近はいくつかの質問に答える形で自分の好きなものや趣味を紹介する自己紹介サイトを指すことが多い。
掲示板	情報・意見交換、コミュニケーションなどを目的に手軽に書き込みができるウェブサイトの機能。
SNS	ソーシャル・インターネットワーキング・サービスの略。コミュニケーションや情報交換を目的とした登録制のウェブサイト。
学校裏サイト	特定の学校の関係者を対象にした、私的に運営されている掲示板形式のサイト。

## ○ 学校裏サイトの実態は?

文部科学省が民間会社に委託し行った「学校裏サイト」の実態調査で、38,260件の学校非公式サイトがあることや、そのうちの87.6%が「2ちゃんねる」などの掲示板で特定的话题を扱った「スレッド(投稿群)」として立ち上げていることが確認されました。

「2ちゃんねる」には、県立高等学校35校のスレッドが、他の掲示板サイトには、県立高等学校延べ14校、市町立中学校延べ99校のスレッドが確認されています。(愛媛県教育委員会調べ、平成20年5月17日現在)

愛媛県警サイバー対策室では、違法また有害情報がないかを常に監視しています。

#6 匿名希望  
ここは〇〇すれですか?  
12-18 23:59

#6 殺し屋  
おまえらみんな殺してやる  
12-17 21:14

#4 名無し  
3組〇番、まじうぜー!キモイ!  
12-03 19:31

【△△中学校裏サイト】

## ○ フィルタリングサービス（アクセス制限サービス）って何？

フィルタリングサービスとは、危険な有害サイトをサーバでシャットアウトするサービスで、「ホワイトリスト方式」と「ブラックリスト方式」の2種類があります。

ホワイトリスト方式	健全なサイトをリスト化し、それ以外は見られないようにする方式。有害サイトを遮断できる率は高いが、リストにない有害ではないサイトも閲覧できない。
ブラックリスト方式	有害なサイトをリスト化し、それらのサイトを見せないようにする方式。ホワイトリスト方式に比べ、より多くのサイトが閲覧可能だが、有害サイトを遮断しきれない場合もある。



フィルタリングはインターネットを安全に使うための常識になっています。本年2月からは、児童生徒（未成年者）が携帯を利用する場合、保護者からの不要の申込みがなければ、「フィルタリングサービス（アクセス制限サービス）」が適用されていますが、それまでに契約したものについては適用されていません。

子どもたちを守るためには、子どもたちが使用する携帯にフィルタリングの設定をしていく必要があります。

## ○ トラブルから子どもを守るために話し合っておくことって何？

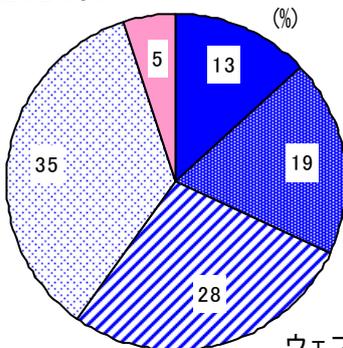
携帯を持つ中高生の約6割が1日30分以上携帯を使用したり、中高生の4割以上が1日のうちメールに30分以上費やしたりしており、子どもたちの多くが携帯に依存している傾向が見られます。携帯を持たせる場合には、携帯の使用時間、使用範囲、利用の制限等について約束し、必要な場合には保護者が管理・指導することが大切です。軽い気持ちでやっていることが法令にふれ、加害者、被害者になることを子どもに自覚させましょう。

【1日当たりどれくらい携帯・PHSを使っていますか】

【1日当たりどれくらい携帯・PHSでメールをしていますか】

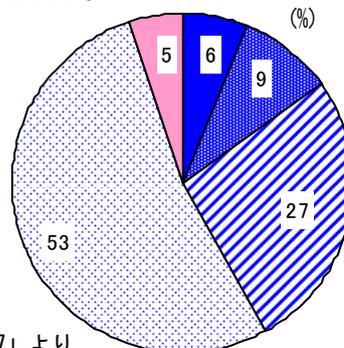
■ 2時間以上  
■ 30分～1時間未満  
□ 5分～30分未満  
□ ほとんどしない

■ 2時間以上  
■ 30分～1時間未満  
□ 5分～30分未満  
□ ほとんどしない



全国中高生 852 人中

ウェブ調査「モバイル社会白書 2007」より



全国中高生 852 人中

子どもの気持ちを認めながら、発達段階や年齢に応じたルールを親子で話し合っておきましょう。

親子で決める携帯ルール（例）

- ① 知らない人からの着信やメールは無視し、返信しない。
- ② ブログや掲示板に書き込むときは、言葉遣いに気を付ける。また、悪口やうそなど無責任な書き込みはしない。
- ③ 自分や友だちの名前、住所、電話番号などの個人情報を書き込まない。
- ④ インターネットで知り合った人と実際に会わない。
- ⑤ 携帯を使うのは、1日〇〇分までで、夜9時以降は携帯を使わない。
- ⑥ 食事中や人と話しているときにメールを打ったり、インターネットをしたりしない。
- ⑦ 携帯を自分の部屋に持ち込まない。
- ⑧ 困ったときはすぐに相談する。